

Tajiri Research Institute

平成26年度
行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画

**まちなみにぎわいワークショップ
報告会**

モデル地区(北谷通り・蓮華寺通り周辺)を対象に

Tajiri Research Institute

本日の予定

1. 開会	18時10分～
2. あいさつ	18時15分～
3. 趣旨説明	18時20分～
4. ワークショップ成果報告	18時25分～
5. 意見交換	18時45分～
6. まとめ	19時25分～
7. 閉会	～19時40分

Tajiri Research Institute

1. 開会

Tajiri Research Institute

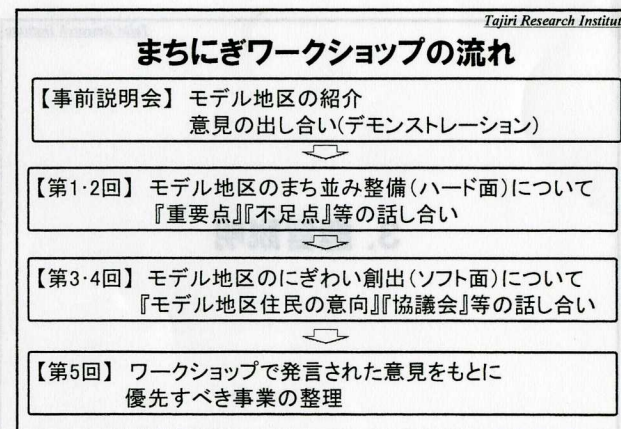
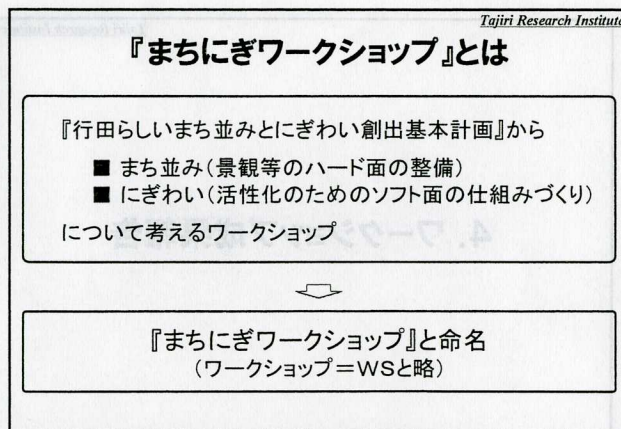
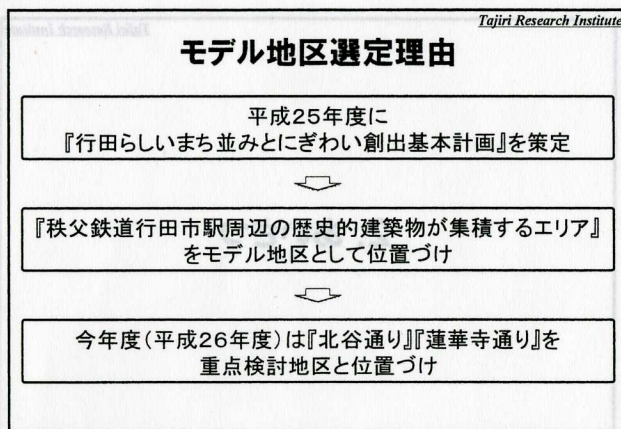
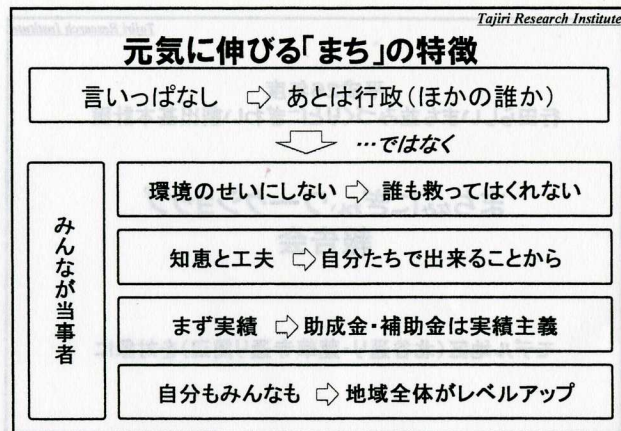
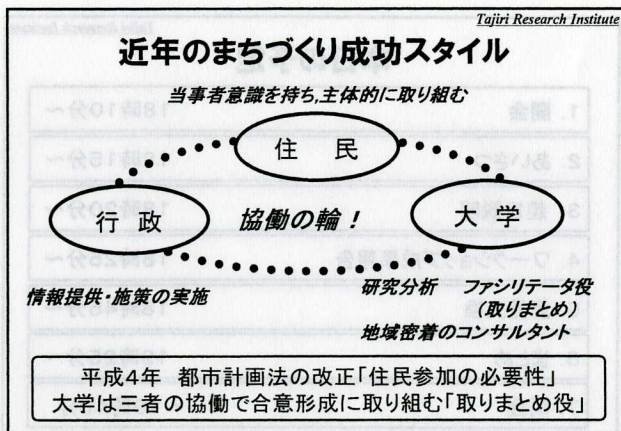
2. あいさつ

Tajiri Research Institute

3. 趣旨説明

Tajiri Research Institute

4. ワークショップ成果報告



Tajiri Research Institute

ワークショップの方法について

従来の方法

- 決められた人数や人
- 全ての回で同一のグループ
- グループ内で意見が深まる

ワールドカフェ方式

- カフェのような雰囲気での和やか
- メンバーの循環によりフレッシュな顔ぶれで議論が盛り上がる！
- 参加者全体で意見が共有できる

今回はワールドカフェ方式で議論を活性化！

Tajiri Research Institute

ワークショップのようす



住民のみなさん・市役所の担当課・ものづくり大学の3者で取り組み

Tajiri Research Institute

【第1・2回】まち並みに関する検討

- 北谷通り・蓮華寺通りのまち並みについて考える
- モデル地区の写真をみることで現状の共有
- ワールドカフェ方式で意見交換を行う
- 現在のまち並みの問題や今後の展望について話し合い

モデル地区の現状が共有され、課題が抽出された

Tajiri Research Institute

【Aグループ】主な課題・意見

駅に魅力がない	緑のある場所
自転車を歩道が邪魔されていけない	水がきれい
「ほーほー」の活用	花壇をおく
旅行者専用道を作る	江戸のまち並みの再現
飲食店を半日に貸出	江戸情緒よりきれい、街並みとなる。駅交差点まで染
歩道は歩行者優先	展させない
空き家・空き地が多い	駅前の山道をキープする場所・展示
道の鉄道を活かす、安全な道にする	蓮華寺通りより歴史がある
小さな店を多く扱いたい	駅前
無料の休憩所はよくない	地域を活性化させようとする意識はある
カフェを置くとして有料な休憩所を造る	足立・雑司が谷の業者の補助すべき(物品提供)
雑司の森入館	北谷小町にあえる町
飲食だけでなく和食やお菓子のお店を造る	おばあさんばかり集まらないように工夫が必要
地蔵堂がある	場所付き合いが少ない
北谷通りは、景観よりイメージ的には景観の北谷という	景観の上、水筋の露
北谷通り側には飲食店が、しかしお寺の跡地は少ない	昔、八幡様から金魚に繋がる水筋があった
安らぎを与える場所がない	野草作りなど
まち並みを再構築する資源はある	11月の祭り
生活用品が買えるお店	空き家の数が多い
小さな店は可愛い店！若い女性の店主が似合う	町歩きなどの人の集まる場所が少ない
本行は電線	倉や靴を造る場所がない
市民生活のための通り	土産物はあると案内し
通りの歴史的背景、対象はばばない	ガス燈を作成
交通量が少ないイメージ	ボックスが大きい
残った地蔵遺跡が活用されてほしい	観光的な道は少ない
蓮華寺の賑わい⇒運動・通学荷物運ば⇒ひっきりなしで通る(江戸時代の物を取り入れるため)	まち並みが壊れている

Tajiri Research Institute

【Bグループ】主な課題・意見

建物の高さ制限に活用できない	緑が多くていい
歩道が広い	歩道をもっと広く
商業施設が少ない	駅の案内板の設置
商店街を活性化して活用できる	住宅地と商業地が混在し、一面がない
商店街の活性化に活用できる	観光地としての発展もしくは居住者としての発展の目標
商店街が活性化しない	「遊覧車」的な活用できる
住宅が古い	まちの特色がわからない
商業施設が少ない	市外からの人を呼び込める工夫がない
この通り30年〜40年前には賑わいがすごかった	交通アクセスが悪くて
蓮華寺通りを活性化しても地域住民のメリットが少ない	通行人が多い
この通りは治安が良い人が集まるというイメージ	歩道の幅が広い
歩道がなくて歩かない	歩道の幅が広い
行田の通りとして身元になるような道にしていきたい	歩道の幅が広い
歴史的名産物がある	歩道の幅が広い
通りに南北高方に特徴ある施設を作る	歩道の幅が広い
蓮華寺のコース作り	歩道の幅が広い
歩道で歩かない	歩道の幅が広い
飲食店が少ない	歩道の幅が広い
歩道幅が広い	歩道の幅が広い
蓮華寺を活性化するための魅力はあるのか	歩道の幅が広い
安全なエリア	歩道の幅が広い
歩道が活用されていない	歩道の幅が広い
歩道が活用されていない	歩道の幅が広い
歩道の地下化	歩道の幅が広い
歩道が少ない	歩道の幅が広い
歩道が少ない	歩道の幅が広い
歩道が少ない	歩道の幅が広い
歩道が少ない	歩道の幅が広い
歩道が少ない	歩道の幅が広い
歩道が少ない	歩道の幅が広い

Tajiri Research Institute

【Cグループ】主な課題・意見

活気がない	市民の共通性がほしい
若い人の姿がない	蓮華寺の通りは寺のイメージが強い
歩道が少ない	行田のまち並みのイメージがほしい
歩道が少ない	文化的なまちに感じられない
歩道が少ない	道すがら歩く(清潔感がない)
歩道が少ない	以前は蓮華寺通りがお祭りがあり、にぎわっていたが、今は少なくなってきている
歩道が少ない	市がやって盛り上げているのではない
歩道が少ない	行政の主体性・先導がほしい
歩道が少ない	商業的に観光地産産物がほしい
歩道が少ない	衛生面についてやや不潔(下水道等)
歩道が少ない	水が臭い
歩道が少ない	取り上げる題材にない
歩道が少ない	食関係が少ない(忠告旅館のみ)
歩道が少ない	最近の飲食の開催
歩道が少ない	人・モノ・情報が自然に集まることを「賑」いう
歩道が少ない	行田市の3本柱(飲食・観光・歴史)が活かされていないのは残念
歩道が少ない	駅前と歩道の間に歩道がない
歩道が少ない	125号線とのアクセス改善
歩道が少ない	駅前の空間の心地よさ
歩道が少ない	駅から歩道の間に歩道のよう
歩道が少ない	南北にしっかりした建物あり
歩道が少ない	行政が盛り上げるのではなく市長が盛り上げたい
歩道が少ない	蓮華寺は門前町だったので、その歴史を踏襲したい
歩道が少ない	賑わいに蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない
歩道が少ない	蓮華寺に水をいらない

Tajiri Research Institute

【Dグループ】主な課題・意見

空き家カフェに	住民の住み良いまちづくり
空き家の活用、学生が住む	観光客誘致
食事のできるところが欲しい	観光にきてみてもらえるだけ
空き家を活用	観光スポットの中心に
観光客が来やすく	
関係している、なぜに人が来ないのか	歴史を復活する再現できるものを探し、再現する
清水ナゴウ(外相邸)	菅原市を蓮華寺と法善寺
静かな通り	単身老人と学生のシェアハウス
点を線でつなぐ	大谷から中町までバスを通す
蓮華寺から北谷通りまでの新しい道をもの犬が通る	水先、風車の通りをつくる
空いてる店に有名な料理人をよぶ	蓮華寺から清水寺までの水路
交通量が少ないのが良い	バス停の位置
空き店舗補助金のある期間しか営業しない	バスを乗りたくなるバスを大学と住居と一緒に考える
緑ヶ丘やO市	人がいない
11月のお祭り(オアシキ)が昭和38年度までやっていた	人を集めるポイント
北谷に商人町と武家町の頃の歌舞伎門を復元	商店街に住んでいる人が一緒にやっていくには
安全で食べられる	住居がない
空き地を観光用駐車場にする	バスのデザイン
行田市街からの駐車場うまくいかない	2020年までに一当地通駅
異質性が残っていない	古城は地蔵に耐えうるのが心配
最後の家が残っていない	QR英語
ダンプの活性化(350)	町の性格を明確にする
どこに傘をさす場所か	まちなかの整理という話ではない
インターロックアップ機はほしい	特色はどこにもある
歴史的建造物が少ない	土産などの物産券がほしい
建物を活かす	生垣と風車のようなもので境をアピール
お店が少い	風車の地中化
蓮華寺の市の復活	人が集まるためには魅力が必要

Tajiri Research Institute

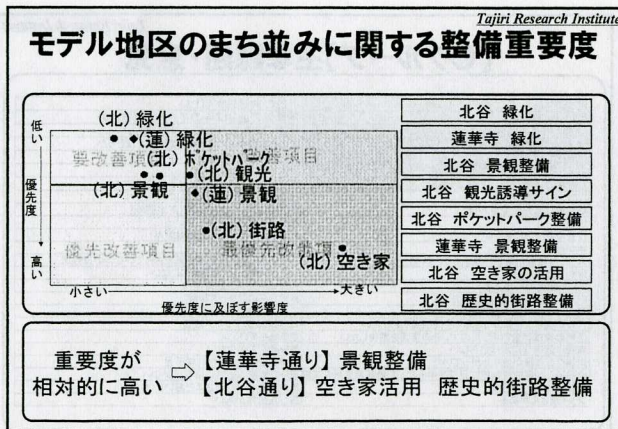
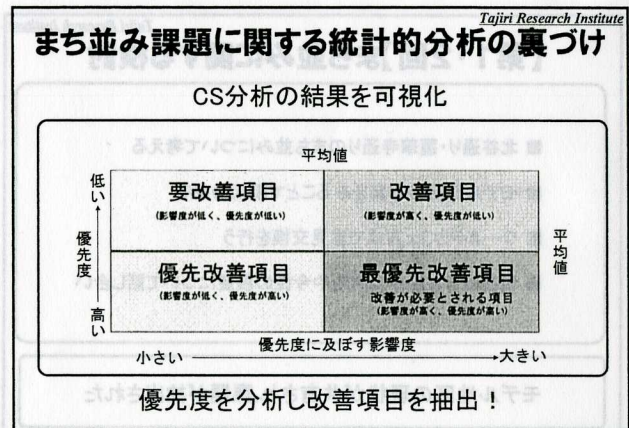
【Eグループ】主な課題・意見

蔵を再利用し賑わい創出の検討	城下町らしさを活かす
シャッターの店が自立	旧町の名の復活
行田の風車を観光コースをつくる	水路の一部を復活
武家町と町家の差を出す	跡のある場所
上町の酒の町	野草作りなど
水・緑・歴史の点在	人・物・金の集まるどころ
個人商店や遊び場がいっぱいあった	当時の雰囲気を楽しみたい
市庁舎の前の通りを復活	文化・職人の実働体験能力による
城下の通りを行田市街から復活してほしい	商業振興の再現
オビヅルワの復活	電柱の撤去
商人祭り活かす	行田市街から古墳までの商店街を活かす
愛宕神社のお祭りの復活	蔵の復活
歴史の復活	ビルなどは建設しない
歴史を伝える活動の推進	歴史を伝える活動の推進
市民レベルの運動をするには	新街通りの景観に力をいれてほしい
近隣住民との意識差	北谷通りの景観について知りたい
商店街の閉店時間が早い	北谷通り・蓮華寺などの地域の特色
空き地の雑草対策	武家町と風車のメインストリートへの風情をとりもどす
行田市街から北谷・蓮華寺を結ぶ大手門、浮城の路まで続く	足袋づくり技術の有効活用
	若いにも見出ししてほしい

Tajiri Research Institute

【Fグループ】主な課題・意見

路地の状態を良くする	牧祖舎の向かいの家の花壇が綺麗
歩かなくて安全な歩道がある	花壇が少ない
改善するには良い道	花壇の統一
空き地が多い	足袋より行田 下町の風景を創る
空き家が少い	女のまち歩きを促しつつも昔の風景を醸し出す
路地の雑草が城下町らしさを壊している	乳児堂の柱まわりの草花の水と緑
路地が綺麗	武家と町人の家
路地のお店を配置する	蓮華寺を中心としたまちづくり
地蔵橋・橋センター・橋の横～清善寺に水路があった	落ち着いたまちなかにポイントとなるまちなみがある
場所あっても整備がされていない	職工センターを起死回生して、おける風情の賑わいが面白い
地蔵橋の横を歩道にして歩道を向上させる	蓮華寺通りの角の寶蔵さんの桜の成長がよい
蓮華寺通りより歴史がある	ゴミがない綺麗
11月の祭り	下駄を賣り出しているまちあるき
撮影	人が少ない
地蔵橋に壁があるか	店を出す 朝市
にぎやかな景観で人や情報が集まる(例⇒花壇を市民で作る)	犬がきれい
水路の復活	中央部蔵、牧祖舎・時田蔵、フライ屋が観光資源になる
愛宕神社・上町として水路復活	昔、八幡様から全体に繋がる水路があった
忍城の上町に水路の跡	うどん、すし、そば屋の賑わいがいい



- Tajiri Research Institute
- ### 北谷通りのまち並みに関する課題まとめ
- | | |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">ワークショップ参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 殺風景なところがよくない ■ 空き地・空き家が多い ■ 狭い道を生かす ■ シャッター街が多い ■ 自転車や歩道の整備がない ■ 自然を感じられない ■ 物産店などの設置 ■ 空き店舗の貸し出しを行う | <p style="text-align: center;">対象地区住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ まち並みが寂しい ■ 空き地や空き家が多い ■ 入り組んだ道の利用 ■ シャッター街と民家でバラバラ ■ 買い物に不便 ■ 住民同士の交流がない ■ 昔のような活気がほしい ■ 高齢者が多く明るさがない |
|---|--|
- まち並み、空き地・空き家、道・路地に関して共通の課題

Tajiri Research Institute

蓮華寺通りのまち並みに関する課題まとめ

ワークショップ参加者

- まち並みの統一を図る
- 来訪者のためのお店作り
- 花壇がほしい
- まち並み保護
- 住民に関心や意識の差
- カラー舗装がきれい
- 歴史的建築物を活かす
- まちづくりのための資源はある

対象地区住民

- 住宅や蔵が混在している
- 観光案内板を設置してはどうか
- 植物により四季を感じるように
- 駐車場の確保をしてほしい
- 舗装により道がきれいになった
- 今後どんな整備を実施し、どんな方向に持っていくのかが見えてこない

まち並み・景観、来訪者・観光者、緑化に関して共通の課題

Tajiri Research Institute

【第3・4回】にぎわいに関する検討

- にぎわいの創出に向けて、住民が主体となる組織について考える
- ワークショップ参加者の方から厳しい意見も含めた多くの意見や提案があった
- 住民主体組織の発足の必要性など原点に戻った意見も多く見られた

↓

住民が主体となるためには共通認識を深める必要

Tajiri Research Institute

【第3回】にぎわいの主な意見

野良猫が増加→人が寄り付かなく、子供のいない世帯の人が野良猫の世話をしているのが、野良猫増加の原因
大学の存在に空気がない→文化が廃れる
余の人が溢れすぎ
蓮華寺を中心とした魅力あるまちづくり
歴史的建築物を中心に人口増加、定住化促進
商店街の活性化
景観維持に住民でほしい
具体的な補助金の使い方を提示してほしい
町おこしについて何かのテーマに取り敢付
地産地消も重要だが、WS参加者の意見取り入れられないと不満が残る。
行政主導の協議会では住民のコンセンサスを確保していく
なかなか参加できない理由を聞き取れない
毎回の参加者の集まりを減らしているかと思えない
本WSが形式的であり、中身が伴っていない気がする
車のゴミについて専門家の具体的な意見を聞きたい。
情報発信の手段がない
空き家等の利活用を考える協議会
協議会主体でまちづくり活動をするつもりはない
市民に利点のあるにぎわい創出
市民は人がWSに来たとしても、今回は一人一人だ。
最終目的は、の通り口を賑わいを創出
まちづくり協議会を作ることは賛成
向かい側でワークショップの開催を促すような協議会
関心を持ってもらってそれを提供できるような協議会
蓮華寺の協議会(NPO)の果たした役割(中)に添えてはどうか？
協定しているが、市民が協議会に賛同していない
北谷通りは中心地的な組織がないため住民主体ではどうか
市民大学の人の集まれる環境(蓮華寺)に作り、人が集まり思慮的ににぎわい

Tajiri Research Institute

住民主体組織の必要性

北谷通り			蓮華寺通り			合計	
北谷 協議会の必要性			蓮華寺 協議会の必要性			単位: %	
必要だと思う	北谷を含めて必要	必要ない	必要だと思う	蓮華寺を含めて必要	必要ない	n	n
46	39	15	53	37	10	85	85
34	45	21	44	41	15	64	64
73	27		72	28		21	21
モデル地区			WS参加者				

↓

住民主体組織 約8割以上が必要
 北谷通り・蓮華寺通り にぎわいづくりの必要性を認識

Tajiri Research Institute

住民主体組織への参加意向

北谷通り			蓮華寺通り			合計	
北谷 協議会の展わり			蓮華寺 協議会の展わり			単位: %	
話し合いとして参加	代表者のサポートとして活動	代表者として参加	話し合いとして参加	代表者のサポートとして活動	代表者として参加	n	n
60	12	28	59	13	28	85	85
53	7	40	51	7	42	64	64
75	18	7	68	25	7	21	21
モデル地区			WS参加者				

↓

代表者として活動への参加意向 低
 まちづくり組織への協力意向 高

Tajiri Research Institute

モデル地区に関するにぎわいの課題まとめ

ワークショップ参加者

- 商工会やNPOとの連携
- 目的を持った住民主体組織を発足
- 地元住民参加の周知方法を再考
- WSによる深い議論の展開
- 住民主体組織の目的明確化

対象地区住民

- 住民が主役の必要性
- まずアクションを起こす
- 対象エリアの広範化
- 住民同士の結束
- 幅広い意見の反映

住民が主体となったまちづくり組織の必要性
 まちづくり組織への参加意向も高い

Tajiri Research Institute

【第5回】まちにぎワークショップのまとめ

- まち並み、にぎわいの検討で抽出された課題をカテゴライズ
- 課題解決に取り組む優先度と時期で分析
- 各グループで取り組みの追加やあり方を検討

↓

ワークショップのまとめとして取り組みの重要度を短期・中期・長期的目線で検討を行う

Tajiri Research Institute

【Aグループ】整備時期・優先度の整理

Tajiri Research Institute

【Bグループ】整備時期・優先度の整理

Tajiri Research Institute

【Dグループ】整備時期・優先度の整理

Tajiri Research Institute

【Eグループ】整備時期・優先度の整理

Tajiri Research Institute

対象地区のまちにぎ課題のまとめ

	短期的	中期的	長期的
まち並み	歴史的 景観整備	歩道や細道 を整備	空き家活用 の成果
にぎわい	行田への アクセス	人を 集める	伝統工芸 技能向上

まち並み ⇨ 歴史的景観を配慮した回遊空間の整備
にぎわい ⇨ アクセス性の向上とおもてなしの仕組みづくり

Tajiri Research Institute

どうすれば『まち』は元気になる？

Tajiri Research Institute

まちづくりの成功事例

- 岐阜県美濃加茂市
地域住民の意向を基に発展
- 大阪府大阪市
企業・商業者が中心
- 千葉県千葉市
商観光業者が中心

住民の自主的な
提案・企画・参加で
まちづくりを
強力に推進

↓

行政ではなく市民が主体でまちづくりを行う意識が高い

Tajiri Research Institute

モデル地区が元気になるメリット

- ステキなまちに住んでいる満足感
- 世代を超えた元気な交流
- 行田の好感度向上
- 暮らしやすく快適な住環境
- 観光客にも魅力ある回遊空間
- 地域経済の発展 商店の元気に貢献

- みどり豊かで潤いのあるまち
- 資産価値の向上
- 次世代への橋渡し
- 地域の連帯感

↓

モデル地区が元気になることで行田の価値が高まる！

Tajiri Research Institute

取り組みによる今後の展望

本年度(平成26年度)のワークショップ

- まち並みの整備の必要性
- 具体的な課題の抽出
- 協議会のような組織の必要性

↓

来年度(平成27年度)のワークショップ

協議会のような住民主体組織のテーマや機能を検討

Tajiri Research Institute

地域の元気は私たち住民から！

大
活動規模
小

住民主体の協議会のような組織が成長するにつれて
まち全体が元気になっていきます！

Tajiri Research Institute

元気に伸びる「まち」の特徴

言いつばなし ⇨ あとは行政(ほかの誰か)

↓

...ではなく

みんなが当事者

環境のせいにして ⇨ 誰も救ってはくれない

知恵と工夫 ⇨ 自分たちで出来ることから

まず実績 ⇨ 助成金・補助金は実績主義

自分もみんなも ⇨ 地域全体がレベルアップ

Tajiri Research Institute

みなさんのチカラで行田を元気に！

ワークショップは来年度も継続して実施します！

Tajiri Research Institute

5. 意見交換

Tajiri Research Institute

6. まとめ

種別ごとの(定年(55歳)定年)

種別ごとの(定年(55歳)定年)

Tajiri Research Institute

7. 閉会

！るま高な田行けこるまこ戻元は図紙ハマテ

7. 閉会

！るま高な田行けこるまこ戻元は図紙ハマテ

！るま高な田行けこるまこ戻元は図紙ハマテ

！るま高な田行けこるまこ戻元は図紙ハマテ